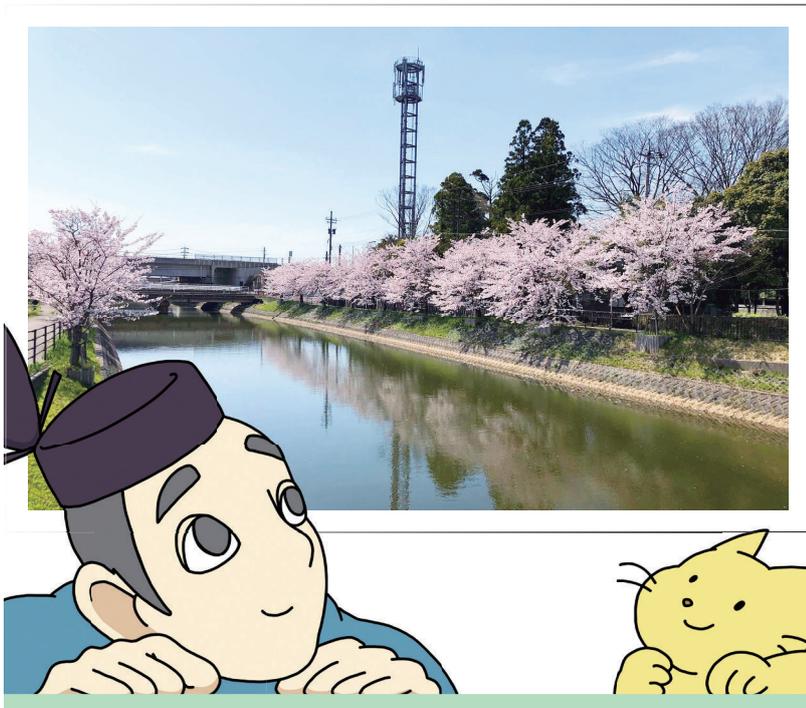


3月会議

- P 2 令和6年度当初予算
- P 4 防災情報発信力強化事業
- P 5 委員会審議
- P 8 一般質問3人が登壇

目指せ！住みたいまちNo.1
 自然災害に立ち向かう
 コウノトリが選んだ町つばた
 大津波警報時の避難の必要性は



紙芝居「順徳さん」



御門屋敷跡



龍ヶ口井戸跡



裏表紙に
絵札紹介



津幡かるた表紙シリーズ 第4弾

予算を見れば町の未来が見えてくる

令和6年度 一般会計当初予算
150億8500万円(前年度比3.7%増)

※金額はすべて1万円未満切り捨てで記載しています

支えあう介護のために

高 齢者などの介護を社会全体で支えあう介護保険制度の保険料は、3年ごとに各市町で見直される。

今回の第9期(令和6~8年)介護保険料は、団塊世代が75歳以上となる令和7年を見据え、保険料の基準額が改定された。

持続可能な事業運営と被保険者の負担を考慮しながら、基準額を100円増の月額5800円とした。

また、保険料率を所得に応じ、きめ細かく適用させるため、区分を12段階から13段階とした。

在宅介護もしてあげたいけど、介護疲れで共倒れになりたくはありません。プロの介護を受けられる施設に誰もが入りやすい環境整備を期待しています。(英田地区・50代)



まちの声

津幡駅東側の賑わい創出へ

長 年の懸案であった津幡駅東側エリアの賑わい創出に向け、東西自由通路の整備を行う。

津幡駅の東側に新しい玄関口ができることにより、通勤通学時のアクセス向上、周辺地域の産業創出を図り、住みよい活気あふれる町を目指す。



津幡駅周辺地区都市再生整備計画事業
2億4001万円

津幡駅東西自由通路完成イメージ図

津幡駅東側は、津幡バイパスの完成から活気がないです。東口の設置・周辺開発が起爆剤になって、東側エリアの再開発が進み活気が戻ってほしいです。

(中条地区・40代)



まちの声

議会の視点

災害復旧と施策推進の二刀流



豪雨・地震による災害復旧に関連した予算は過去最大となった。今年度の予算全体を見ると、通常事業の規模縮小や先送りなど、予算編成にもその影響が表れていた。

こうした状況の中、町では交付金や基金などを活用して、停滞させてはならない施策が展開される。

本町発展のカギとなる津幡駅周辺の整備は、計画通り進められるほか、将来を担う子どもたちの教育環境充実の予算も確保された。また、高齢化が懸念される介護保険事業では、蓄えてきた基金を投入して保険料の増額改定を最小限に抑えた。

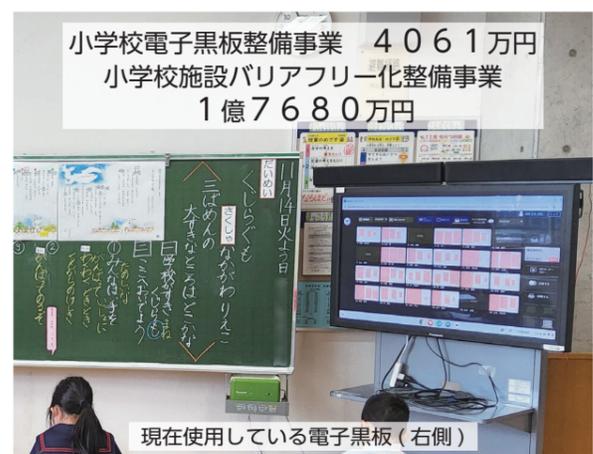
当初予算の詳細は
広報つばた4月号



全小学校の情報教育環境の整備へ

全 小学校の各学年の教室に電子黒板を設置し、GIGAスクール事業の推進を図るとともに、教育支援体制の充実と情報教育環境を整備する。

また、小学校のバリアフリー化では、条南小学校のエレベーター棟増築とトイレ洋式化などを行い、安全でより快適な学習環境を整備する。



小学校電子黒板整備事業 4061万円
小学校施設バリアフリー化整備事業
1億7680万円

現在使用している電子黒板(右側)

電子黒板の導入などでオンライン化が進み、学校に行きたくても行けない子どもたちもリモートで同じように授業に参加できるようになればいいなと思います。

(中条地区・50代)



まちの声

令和6年度 施政方針



矢田 富郎 町長

早期の復旧と 引き続き被災者支援を

町政運営はこれまでと同様に、30年・50年先を見据えた子の時代・孫の時代のためのまちづくり、心豊かに今を暮らすためのまちづくり、この2つの柱で推し進めていく。

定住人口や交流人口の拡大に加え、地球温暖化防止対策やデジタル化の推進など、町政を取り巻く環境が著しく変化する中、多様化・複雑化する町民ニーズを的確に捉え、各種施策の展開を図る。

なお、能登半島地震に係る災害復旧費用については、4月以降の補正予算で対応する。

目指せ！住みたいまちNo.1

自然災害に立ち向かう 復旧・防災力向上へ

3月会議を4日から13日までの期間で開催した。
初日に、令和6年度一般会計・特別会計・事業会計予算、5年度補正予算、条例の制定・改正などを含む28件の議案が提出された。
2日目に、町政全般について3人が一般質問を行った。

議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決し、請願1件を採択、3件を不採択とした。
また、河合谷財産区管理委員の選任について同意した。さらに、議会議案として意見書2件を可決した。

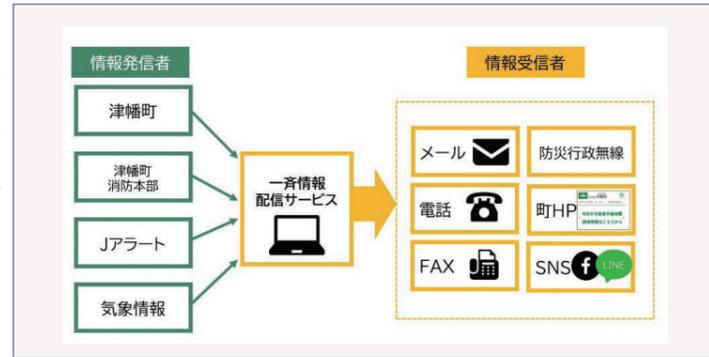
令和6年能登半島地震に寄せて

地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。
町議会では議会災害対策支援本部を設置して、被災状況や支援状況についての情報を共有し、一日も早い復旧と生活再建のため町民の皆さまの声を町へ届けてまいります。

防災情報発信力強化事業 666万円

ホームページやメール、LINE(ライン)、電話など個別で行っていた情報発信を一元化し、効率的な仕組みを構築する。

▶防災情報一斉配信システム



一般財産管理費 災害補修費(地震) 1680万円

災害復旧に向け測量設計業務などを開始

▶崩落したのり面(緑が丘地内)



▶隆起したマンホール(吉倉地内)



予算決算、総務産業建設、文教生活福祉の各常任委員会と分科会の主な審議内容を紹介します。

被災した防火水槽の更新

- 消防本部 -

Q 太白子どもの広場の防火水槽が地震により隆起した。今後の対応は。

A 同様の地震が発生した場合を考慮し、隆起しにくい防火水槽を設置する。

Q 被災した防火水槽は、再利用できないか。

A 解体しないと動かせない。検討したが、再利用の予定はない。



▶隆起した防火水槽

デジタル活用推進 道の駅「歴史国道竹橋口」

- 都市建設課 -

Q 施設を無人化にすることで今後の管理はどうなるのか。

A AIカメラで来場者を検知し、自動音声で案内を行う。警備は従来通り民間業者に委託する。

防災行政無線の運用

- 総務課 -

Q Jアラートで津波警報が配信されたが、当町には被害がなかった。地域に合わせた情報発信ができるか。

A Jアラートは自動連携するので町で制御ができない。津波に関して過度に心配はないが、その時の状況に応じて判断してほしい。

運転が不安になった シニアドライバーの方に

- 生活環境課 -

Q 高齢者免許証自主返納推進事業とは。

A 返納者の移動の利便性を確保するために、町営バス無料回数利用券・おためし利用券を交付。

Q 返納者は何人か。

A 5年12月末で返納者は94人。利用券申請者は64人となる。

教員の多忙化改善に向け 部活動指導員を増員

- 学校教育課 -

Q 現在の状況は。

A 5年度は6人配置の予定が実績として5人だった。

Q 6年度の配置予定は。

A 中学校2校に計6人を配置予定。

津幡中学校ではバレーボール・柔道・ソフトテニス。津幡南中学校では卓球・バスケットボールの各部に配置した。

▶変わり始める部活動



コウノトリが選んだ町つばた

- 生涯教育課 -

Q 情報発信と保護活動の内容は。

A コウノトリを見守るためにライブカメラと人工巣塔を設置する。また、ヒナに個体識別するための足環をつける作業も含まれる。



▶新たな家族を期待

3月会議 採決状況一覧

○:賛成 ×:反対 議長は採決に加わらない。「-」

議案名と主な内容 (議案名は一部省略してあります)	結果	議員															
		1池野翔吾	2柴田洋一	3東克彦	4中島敏勝	5小倉一郎	6小町実	7竹内竜也	8八十嶋孝司	9西村稔	10酒井義光	11塩谷道子	12多賀吉一	13向正則	14道下政博	15谷口正一	16河上孝夫
議案 28件 議案の一部を2~4ページに紹介																	
令和6年度町一般会計予算 150億8500万円(前年度比3.7%増)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和6年度町国民健康保険特別会計予算 34億647万円(前年度比2.4%減)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度町後期高齢者医療特別会計予算 5億1455万円(前年度比11.4%増)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度町介護保険特別会計予算 27億1302万円(前年度比2.4%増)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度町バス事業特別会計予算 1億1666万円(前年度比29.8%減)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度町河合谷財産区特別会計予算 31万円(前年度比0.0%)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度町病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度町簡易水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度町一般会計補正予算(第11号)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度町介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度町バス事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度町河合谷財産区特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度町病院事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町犯罪被害者等支援条例について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町水道使用条例及び町水道法施行条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町消防手数料徴収条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町営バスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町介護保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例及び町営住宅管理条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
牛首辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下河合辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
種辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝日畑辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 4件 6ページに紹介																	
地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー(循環経済)の一層の推進を求める意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪万博の開催を延期するか中止することを含めた再検討を要望する意見書を送付する請願	不採択	×	×	×	○	×	×	×	-	×	×	○	×	×	×	×	×
被災者生活再建支援法の改正を含む被災者支援の拡充を求める意見書を送付するよう求める請願	不採択	×	×	×	○	×	×	×	-	×	×	○	×	×	×	×	×
国際保健規則の改正の見送りを求める意見書を送付する請願	不採択	×	×	×	○	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×
同意 1件																	
河合谷財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて 高山 良三氏、得能 力氏、寺山 昌二氏、森川 茂一氏、永多 憲二氏、井上 亮一氏の選任に同意	同意	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案 2件 一部を6ページに紹介																	
能登半島地震の災害復旧・復興支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー(循環経済)の一層の推進を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○

請願に対する討議

賛成
施設の建設労働者の不足が懸念される。また、大阪万博開催により、能登半島地震の復旧・復興が遅れる恐れがある。中島 敏勝 議員

委員会主な意見
・災害対策を優先したうえで、諸外国の信頼を損なわないためにも予定通り開催を進めるべき。

◎請願者 参政党第3支部 副支部長 山田 哲也
紹介議員 中島 敏勝

採択
地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー(循環経済)の一層の推進を求める意見書の提出を求める請願

◎請願者 公明党津幡支部 津幡地区員 今井 豊
紹介議員 道下 政博

委員会主な意見
・推進することで地域課題の解決とともに、新たなビジネスや価値を生み出すことが期待できる。

不採択
大阪万博の開催を延期するか中止することを含めた再検討を要望する意見書を送付する請願

◎請願者 参政党第3支部 副支部長 山田 哲也
紹介議員 中島 敏勝

委員会主な意見
・規則改正についての議論が途中であり、可否の判断材料も乏しい。

不採択
被災者生活再建支援法の改正を含む被災者支援の拡充を求める意見書を送付するよう求める請願

◎請願者 参政党第3支部 副支部長 山田 哲也
紹介議員 中島 敏勝

委員会主な意見
・今回の地震による政府への意見や要望は、国会議員を通じて中央にすでに届けている。また、支援金の拡充は、私有財産に税を投入することから慎重な議論が必要だ。

請願に対する討議

賛成
規則の改正手続きが民主的な国家のルールに反する。また、WHO(世界保健機関)の信頼性も欠如している。中島 敏勝 議員

委員会主な意見
・規則改正についての議論が途中であり、可否の判断材料も乏しい。

◎請願者 参政党第3支部 副支部長 山田 哲也
紹介議員 中島 敏勝

不採択
国際保健規則の改正の見送りを求める意見書を送付する請願

◎請願者 参政党第3支部 副支部長 山田 哲也
紹介議員 中島 敏勝

委員会主な意見
・今回の地震による政府への意見や要望は、国会議員を通じて中央にすでに届けている。また、支援金の拡充は、私有財産に税を投入することから慎重な議論が必要だ。

議案に対する討議

反対
自衛官募集事務費の計上について反対する。外交ビジョンを進めることが大切で、日本を大軍拡化するために力を入れるべきではない。塩谷 道子 議員

賛成
喫緊の課題である災害復旧と町の発展を見据え、ハード及びソフト両面でバランスの取れた予算だ。池野 翔吾 議員

令和6年度 町一般会計予算

可決
能登半島地震の災害復旧・復興支援を求める意見書

◎提出者 町議会運営委員長 谷口 正一

委員会発議で意見書を提出
今後、本町が安心感をもって復旧・復興にしっかりと取り組んでいくためには、国による財政支援への明確な担保と長期的な支援が必要だ。よって、本町を初めとした被災地が一日も早く復旧・復興をなし遂げるため、国による直轄事業の拡大・推進と新たな補助制度の創設や補助率のかさ上げなどの財政措置及び特別交付税の別枠措置など、これまでの枠にとられない措置を講じられるよう、強く要望する。

一般質問とは
議員が町政全般にわたり、執行機関である町に対して報告や説明を求めたり、質問することをいいます。

災害対応を考慮し、各議員の判断で質問の自粛が行われました。

避難行動

問 大津波警報時の避難の必要性は

答 十分に確認し、避難行動を



みちした まさひろ
道下 政博 議員

Q 大津波警報時、町民の避難の必要性は。

A 住居区域には津波災害警戒区域指定はないが、想定を超える可能性もある。警報の内容や対象地区を十分に確認し、避難行動をとってほしい。

Q 本町に津波ハザードマップはあるか。

A 本町は海岸線に面しておらず、居住地の被害が想定されていないため、作成する義務は免除されている。



人とペットの災害対策ガイドライン



▶ ペットも大切な家族

こんな質問もありました

Q 災害時におけるペットとの同行避難の周知徹底を。

A 町ホームページに、ペットの災害対策について掲載している。

今後はさらに広報つばたや町公式SNSを中心に、ペットの同行避難について周知する。

避難所対応

問 ほっとするような温かい食事を

答 取ることは可能である



しおたに みちこ
塩谷 道子 議員

Q 福祉センターに避難している人は少人数なので、食事は温かいものを用意できないか。

A 避難所での食事は、電子レンジや電気ポットを設置しており、温かい食事を取ることは可能である。

また、少しでも快適に過ごせるよう定期的に職員が聴き取り調査を実施している。

Q 避難者がいる限り、避難所の継続を。

A 避難者が一日でも早く元の生活を取り戻すことができるよう支援を続けていく。



▶ 避難スペース（福祉センター）

採決結果

1月会議 採決状況一覧

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議長は採決に加わらない。[-]

議案名と主な内容 (議案名は一部省略してあります)	結果	議員															
		1池野翔吾	2柴田洋一	3東克彦	4中島敏勝	5小倉一郎	6小内実	7竹内竜也	8八十嶋孝司	9西村稔	10酒井義光	11塩谷道子	12多賀吉一	13向正則	14道下政博	15谷口正一	16河上孝夫
議案 5件																	
令和5年度町一般会計補正予算(第10号) 低所得者支援臨時特別給付金や災害救助法による応急救助費など (6億1644万円の増)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
令和5年度町水道事業会計補正予算(第3号) 能登半島地震による漏水修理費として (3300万円の増)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
令和5年度町下水道事業会計補正予算(第4号) 能登半島地震による応急復旧費など (8535万円の増)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
町手数料徴収条例の一部を改正する条例について 本人や親族が本町以外の本籍地の戸籍証明書を本町窓口で取得するための手数料や、新たな戸籍電子証明書提供用識別符号発行の手数料などを設定する改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
請負契約の締結 契約の金額 5災220号準用河川笠野川河川災害復旧工事 8415万円 契約の相手方 株式会社茶谷組	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
承認 1件																	
専決処分の報告 令和5年度町一般会計補正予算(第9号) 子育て世帯支援給付金給付事業費として(6390万円の増)	承認	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠

宅地復旧

問 耐震化推進事業に対する認識は

答 重要な手段と捉えている



たけうち たつや
竹内 竜也 議員

Q 国の宅地耐震化推進事業に対する認識は。

A 被災宅地の復旧を促進する重要な手段と捉えている。

Q 国の大規模盛土造成地滑動崩落防止事業を活用し、地震で崩落した緑が丘市内の町道と宅地を合わせて復旧せよ。また、国への働きかけは。

A 事業を活用できないか検討している。道路災害復旧事業と一体的にできないのかを県と相談している。また、国土交通省とも連絡を取り始めている。

※宅地耐震化推進事業とは
地震などにおける滑動崩落や液状化による宅地の被害を軽減する対策工事などに要する費用を補助。

※大規模盛土造成地滑動崩落防止事業とは
地震などにおける大規模盛土造成地の被害を防止するために要する費用を補助。

▶ 滑動崩落した盛土造成地





意見交換会で出た意見の一部を紹介します

22人
136の
声

ワールドカフェ方式で、和やかに(第2部:意見交換会)



高齢化対策

- ・元気なお年寄りを増やせ
- ・自ら情報を得られるよう学ばべき
- ・富山型デイサービスを参考に、子どもとの交流の場を増やす
- ※富山型デイサービスとは
高齢者だけではなく、子どもたちや障がいのある方も一緒に過ごせるデイサービス



子育て支援

- ・お母さんが動きやすくなるような支援を手厚くしてほしい
- ・雨の日でも遊べる施設が欲しい
- ・中条公園などにもふわふわドームが欲しい
- ・子ども見守り隊に補助金を



防災

- ・危機管理対策室に災害専任の職員を配置せよ
- ・防災訓練の内容が実際の災害の状況と合っていない
- ・災害を想定した避難場所の設定など防災に対する意識を高めるべきである



定住促進

- ・住宅と企業、店舗をセットで誘致するコンパクトビレッジ構想を進めては
- ・若者が転入したくなるように助成金額を上げてほしい
- ・中山間地域の過疎化対策をせよ

事前にテーマを示しておけば、より多くのアイデアがでるのでは。



貴重な体験ができました。また参加したいと思います。



参加していただいた皆さま、ありがとうございました。進め方についても多くのご意見をいただきました。今後の議会と語ろう会に活用していきます。

議会活動に活かす！ 伝える・聴く 118分



映像も交えながら、議員が解説(第1部:議会報告会)

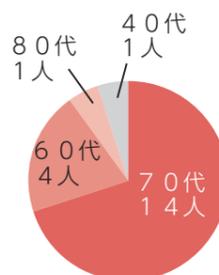
開催しました

議会と語ろう会

2月3日(土)、津幡地域交流センターで議会と語ろう会を開催しました。
第1部の議会報告会では、議会の紹介と委員会審議の内容説明、事前質問の回答を行いました。

第2部では、5つのグループに分かれて議員が進行役となり意見交換会を行いました。4つのテーマについて話し合い、幅広い視点から意見が出されました。

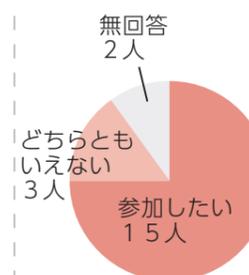
参加者 22人 アンケート回答数 20/22(人)



参加者の年代は



意見交換会の内容はいかがでしたか？



また参加したいですか？

議会と語ろう会の詳しい内容はこちらへ



